

2022(令和4)年度10月委員会

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会について(紙面報告)
2. 総務部：監査(上半期)(10/18)、令和5年度会長選出、24期委員募集、館外研修(11/15)について
3. 地域交流部：マルシェ&ハロウィン子どもまつり(10/30)、アフタヌーンコンサート(11/5)について
4. 事業企画部：防災フォーラム(10/23)、与謝野晶子と源氏物語アンケートについて
5. 広報部：わたしのおぎくぼ、ホームページ、広報部七館連絡会(11/10)について
6. 道の愛称p:
7. 荻窪の記憶p: 打ち合わせ(10/20)について
8. 事務局：「(仮称)コミュニティふらっと本天沼」の整備に関する説明会について
「すぎなみNPOガイド」協議会紹介記事の掲載について
9. その他:

2. 協議

1. (会長)
2. (総務)
3. (地交)
4. (事企)
5. (広報)
6. (事務局)

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022(R4)11月、12月予定表
 2. (会長)10月役員会記録
 3. (会長)第2回協議会活動検討会報告
 4. (総務)令和5年度会長選出について
 5. (総務)24期委員募集について
 6. (地交)マルシェ&ハロウィン子どもまつりについて
 7. (事企)アンケート(与謝野晶子と源氏物語)
 8. (事企)防災フォーラム2022アンケート集計
 9. (広報)協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 10. (広報)ホームページ
 11. (広報)わたしのおぎくぼNo.360(12月1月号)レイアウト
 12. (広報)広報部七館連絡会について
 13. (事務局)「すぎなみNPOガイド」協議会紹介記事(案)
 14. (「(仮称)コミュニティふらっと本天沼」の整備に関する説明会のご案内)

2022年11月予定



	午前	昼休み	午後
1 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ＜地域交流部＞萬 ふれあいコンサート実行委員会 11:00～ 第2集会室		
2 水			
3 木			
4 金			
5 土	＜地域交流部＞萬 ふれあいアフタヌーンコンサート準備	＜地域交流部＞萬 ふれあいアフタヌーンコンサート 13:30-15:00	
6 日			＜事業企画部＞惠羅 東大アプリで考える首都直下地震72時間 講師：田中淳 13:30～15:00 第1・2集会室
7 月			
8 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ＜総務部＞茂木 協議会活動検討会 11:30～ 第1集会室		
9 水	＜事業企画部＞堀川 ワイパ1つでできるフランス料理講座 講師：天下井廉人 10:30～12:45 料理室		
10 木	＜広報部＞横尾 広報部七館連絡会議 10:00～@高円寺		
11 金			
12 土			
13 日			
14 月	(休館日)		
15 火	＜総務部＞大矢・船津 館外研修 ◎「区広報紙」1/15号原稿事務局へ切		
16 水			
17 木			
18 金			
19 土			
20 日	(館内整理日)		
21 月			
22 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」12/15号校正日		＜総務部＞大矢・船津 役員会 13:00～ 打合せ室
23 水			
24 木			＜事業企画部＞堀川 大人のワイン講座 1/2 講師：上田紀子 料理室 13:30～15:00
25 金	◎「区広報紙」11/15号校正日		
26 土	＜事業企画部＞染谷・菊野 荻窪健康サロン 準備	＜事業企画部＞染谷・菊野 荻窪健康サロン 13:00-16:00	
27 日			＜事業企画部＞染谷 秋を楽しむ木の実工作教室 講師：山室京子 13:00～15:00 工芸室
28 月	(休館日)		
29 火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No. 360 12月1月号発行配布		＜総務部＞大矢・船津 委員会 13:00～ 第1・2集会室
30 水			
	午前	昼休み	午後

2022年12月予定

	午前	昼休み	午後
1 木			<事業企画部>堀川 大人のワイン講座 2/2 講師：上田紀子 料理室 13:30~15:00
2 金	<事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 1/3 講師：高橋晃史 10:00~12:00 体育室		
3 土			
4 日			
5 月			
6 火	部会10:00~ 第1・2集会室		<事業企画部>恵羅 杉並区区制施行90周年記念事業 原水爆禁止署名運動パネル展 ~11日(日) ロビー
7 水			
8 木			
9 金	<事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 2/3 講師：高橋晃史 10:00~12:00 体育室		
10 土			
11 日			<事業企画部>染谷 荻窪寄席 講師：金原亭馬玉、翁家和助 15:00~17:00 第1・2集会室
12 月	(休館日)		
13 火	部会10:00~ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」2/15号原稿事務局へ切 <総務部>茂木 協議会活動検討会 11:30~ 第1集会室		<総務部>大矢・船津 役員会 13:00~ 打合せ室
14 水			<事業企画部>恵羅 荻窪の記憶V パネル展 「荻窪100年の歴史」 ~1月16日(月) ロビー
15 木			
16 金	◎「区広報紙」1/15号校正日 <事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 3/3 講師：高橋晃史 10:00~12:00 体育室		
17 土			
18 日			
19 月			
20 火	(館内整理日)		
21 水	部会10:00~ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」12/15号校正日		<総務部>大矢・船津 委員会 13:00~ 第1・2集会室
22 木			
23 金			
24 土			
25 日			
26 月	(休館日)		
27 火	部会休み		
28 水	(休館日)		
29 木	(休館日)		
30 金	(休館日)		
31 土	(休館日)		
	午前	昼休み	午後

日時：2022年10月18日（火）13時～15時

場所：打合せ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、恵羅副会長・事業企画部長、横尾
広報部長、大矢総務部長；伊藤会計監事、桑山会計監事；吉川事務局長、岩井事
務局員、鈴木事務局員

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会について
2. 総務部：監査（上半期）（10/18）、同日午前に終了；令和5年度会長選出スケジュール（下記協議事項参照）；次期（24期）委員募集（チラシ等を確定し、順次各種媒体に掲示、町会等に依頼をかける予定）；館外研修について（11/15、庭園美術館を予定）。
3. 地域交流部：マルシェ&ハロウィン子どもまつり（10/30）詳細説明、10/25 実行委員会予定；アフタヌーンコンサート（11/5）概要説明、11/1 実行委員会予定。
4. 事業企画部：防災フォーラム（10/23）について（10/18、実行委員会済）、講座アンケート報告「与謝野晶子と源氏物語」は非常に評判がよかった。今後の希望への回答も多く、講座編成の参考になる。今年度、今後の講座予定紹介、11/5 松溪中、あそび市協力依頼あり。
5. 広報部：「わたしのおぎくぼ」次号 No.360 レイアウト、広報部7館連絡会について
6. 道の愛称 p：
7. 荻窪の記憶 p：10/20 執筆関係者打ち合わせ会予定
8. 事務局：「すぎなみ NPO ガイド」協議会紹介記事の掲載について
9. その他：

2. 協議

1. （会長）次期会長選出とも絡み、次期委員資格について突っ込んで検討。方針として、22期全員（除く、現会長）について1期延長を委員会決定とすることを提案し、対象となる全員を会長被推薦の対象とすることとしました。私見ですが、22期の方について来期の委員継続意向について別途表明をしていくこと（ロビイングとして）は自由と考えます。
2. （総務）次期（24期）委員募集について原案で了承。
3. （地交）
4. （事企）
5. （広報）
6. （事務局）

3. 事務局から

第1回協議会活動検討会(討議内容メモ)

資料 3

2022.9.26

(文責：茂木)

第2回検討会、10月18日(火)、午後1時より(第5集会室)

- (1) 当日参加者：茂木、萬、恵羅、横尾、伊藤(監事)、船津、杉原、杉浦、小野、上田、
香取、熊谷、菊野、西村 (順不同、敬称略)

オブザーバー：事務局吉川、岩井

(2) 配布資料

- ① 指定管理者制度について
- ② 西荻地域区民センター等指定管理者募集要項(抄)
- ③ 西荻、阿佐谷、高円寺各センターの指定管理者候補者選定結果(3件)
- ④ 指定管理者募集時の質問と回答(高円寺のケース)より抜粋

(3) 検討会にて

- ① 第2回のテーマは、指定管理者制度とは何か、センター関係での導入先での状況。
- ② 配布資料に沿って、茂木より説明
 - 1) 導入は地方自治法改正により2003年9月以降可能に
 - 2) 小泉内閣の民活路線の一環
 - 3) 杉並区はスポーツ施設、図書館などから導入
 - 4) 協議会関係では高井戸センターの大型プール運営における指定管理者導入をきっかけに協議会活動同種の分野で協働を謳って制度導入開始。その後、センター施設の移設・改修を機に西荻(改修、導入済)、阿佐谷(移設、導入済)、高円寺(改修、来春導入)
 - 5) 導入の本旨が、施設管理に関し効率化と住民サービス面での創造性への期待という観点に立って、業務委託から指定管理への移行にあり、協議会活動の代替という意図は薄いように感じられる。そもそも現在の協議会は施設管理を担当しているわけではない。
 - 6) 上記観点とともに、協議会の自主性を重視してか、指定管理応募者の選定委員会に、協議会会長を参加させている。もし、協議会と指定管理者を競合させるのであれば、このようなことをすればイクオール・フットィグにならない。ただし、協議会会長の役割が名目的にならないようにすること

に留意が必要。

- 7) 指定管理料の算定が、「指定管理料＝管理運営経費－指定管理者の収入見込額」となっている点が、指定管理制度のエコノミックスを端的に示している。

管理運営経費の査定がどれだけできるかであるが、競合する応募者のプロポーザルを比較審査するなかで、経費面の妥当性、同じく収入見込とリンクしたコスト構造をどう評価し、応募者のインセンティブがどこにあるのかを評価することにかけているように見える。また適正報酬のような制度が組み込まれているのかなど要確認。

(4) 質疑

- ① 仮に協議会活動との競合を目的とした指定管理者制度であるとして、現下のセンター活動にとって代わって実行した場合、収益的メリットが発生するとはとても思えない。どうして民間業者が参入しているのか。

回答：複数のセンターに入り込むことでスケールメリットの享受で収益を確保しているように見える。

- ② 高円寺の質疑内容に。指定管理者が自主事業を行う際、施設管理料は無償である旨が書かれているが、このあたりに業者の旨味があるのではないか。

回答：必ずしも仔細は分からないが、自主事業にかかる人件費がカバーできさえすれば事業の幅が相当広がるかも知れない。

- ③ 指定管理者の選定をこのようなメンバーで行っていることを知って、ややびっくりした。

回答：選定委員会の役割は、議会への最適候補者の提案であり、決定は議会がするという仕組み。選定委員会の会長を学識経験者にして中立性を保ち、区役所の関連部の責任者、外部の専門家、それに直接関係する協議会会長を配した格好となっている。

(5) 所見

他のセンター協議会において、指定管理者制度が導入されていることは事実であるが、そのすべてがスポーツ施設、ホール等の大規模施設の整備がなされていることと並行しており、付随的に協議会活動との競合・協働が部分的に発生しているように見える。荻窪の場合、どのような改修が予定されるか未確定であるため、決定的なことが言えないが、指定管理者を何が何でも導入するとすれば、すぐわしい施設が生み出されない限り、あまり有効な手段とも思われにくい。現状の業務委託を改編して指定管理に相応しい業務内容に改変するのか等、いろいろ考えられる。この点は、他の自治体のケースの分析や中立的専門家の

4. その他

- 配布資料
1. 2022 (R4) 11月、12月予定表
 2. (総務) 令和5年度会長選出について
 3. (総務) 次期(24期)委員募集について
 4. (地交) マルシェ&ハロウィン子どもまつりについて
 5. (事企) アンケート(与謝野晶子と源氏物語)
 6. (事企) 防災フォーラムについて(10/18にリエンテーション用資料配布済)

 7. (広報) 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 8. (広報) ホームページ
 9. (広報) わたしのおぎくぼ No.360(12月1月号)レイアウト
 10. (広報) 広報部7館連絡会について

令和5年度会長選出スケジュール（案）

令和4年10月25日委員会資料 総務部

令和4年11月1日（火）

推薦書・自薦書を配布する。

- ・会長候補者1名を推薦あるいは自薦する。

推薦書は、全委員に配布する。自薦書は23期委員にのみ配布する。

注：推薦書・自薦書は記名式（記名がない場合は無効）・提出は任意。

- ・提出期限 11月15日（火）12時
- ・提出先 事務局

令和4年11月15日（火）

13時に会長と総務部長で開封。

11月22日（月）までに、会長が推薦を受けた方の意思を確認する。

令和4年11月22日（火）

全体部会で候補者名を報告。

令和4年11月29日（火）

定例委員会において信任投票または選挙。

- ・候補者一人の場合は、信任投票する。
- ・候補者二人以上の場合は、選挙を行う。

投票は無記名とし、出席委員の過半数の賛成をもって決定する（会則第15条8項）

投票前に委員会の成立（構成員の過半数の出席、会則第15条6項）を確認する。

○同日、委員会で公表。

注：新会長は、12月から役員会に出席し、次年度の事業計画策定と予算編成に積極的にかかわる。なお、新副会長選任後は新副会長も役員会に参加する。

<副会長、部長、副部长、会計監事の選出>

副会長：副会長若干名を推薦し、定例委員会で承認する。

部長：部会を開催し部員の互選で決定する（会則第10条3項）。

副部长：新部長が新会長と相談して、必要があれば指名する。

会計監事：次年度の委員配置が決まった段階で、会長が推薦し委員会で決定する。

なお、各期から1名ずつの選任を原則とする。

令和5年度荻窪地域区民センター協議会会長選出用名簿(案)

22期	伊藤 佳江
	大矢 正男
	船津 まさ子
	萬 靖義
	影山 健次
	杉浦 和子
	本田 良夫
	恵羅 博
23期	桑山 務
	杉原 幸一郎
	上田 昌子
	小野 美和子
	西村 淳一
	伊藤 久美子
	熊谷 伸成
	堀川 秀夫
	香取 真実
	菊野 一雄
	弘中 義夫

総務部御中

2023年・2024年度会長候補者推薦書

私は次の通り荻窪地域区民センター協議会会長の候補者を推薦します。

候補者氏名

推薦人

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補者推薦書

私は次の通り荻窪地域区民センター協議会会長の候補者を推薦します。

候補者氏名

推薦人

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補者推薦書

私は次の通り荻窪地域区民センター協議会会長の候補者を推薦します。

候補者氏名

推薦人

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補者推薦書

私は次の通り荻窪地域区民センター協議会会長の候補者を推薦します。

候補者氏名

推薦人

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補自薦書

私は荻窪地区民センター協議会会長に立候補します。

立候補者氏名

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補自薦書

私は荻窪地区民センター協議会会長に立候補します。

立候補者氏名

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補自薦書

私は荻窪地区民センター協議会会長に立候補します。

立候補者氏名

2022年 月 日

総務部御中

2023年・2024年度会長候補自薦書

私は荻窪地区民センター協議会会長に立候補します。

立候補者氏名

2022年 月 日

委員会資料

令和4年10月28日

24期協議会委員に係る町会への推薦依頼等について

○10月21日（金）14時 天町連

○10月26日（水）15時30分 萩町連

・24期委員推薦依頼（口頭）

○11月18日（金）14時 天町連

○11月25日（金）15時30分 萩町連

・24期委員推薦依頼（別紙書面持参）

※天町連・萩町連以外の町会、PTAや商店会、青少年育成委員会などへの委員推薦依頼もできるだけ行う方向で検討する。

※公募委員の募集は広報すぎなみ12月15日号に掲載予定。

令和4年11月吉日

荻窪地域区民センター協議会
会 長 茂木 愛一郎

次期荻窪地域区民センター協議会委員の推薦について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より荻窪地域区民センター協議会の活動に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当センター協議会は、各団体からのご推薦による委員等がその運営に当たっております。委員の任期は1期2年、通算で2期4年が原則となっており、来年定期総会をもちまして10名の委員が任期満了となります。次期においても新たな委員にご協力いただき、円滑に活動をしてまいりたいと考えております。

つきましては、貴団体から次期委員のご推薦をいただきたくお願い申し上げます。

お忙しいこととは存じますが、令和4年12月26日までに別紙により郵送、Fax 又はメールにてご回答をいただければ幸いに存じます。

参考までに資料として「荻窪地域区民センター協議会の概要について」を同封いたしました。

宜しくお取り計らいくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

荻窪地域区民センター協議会事務局

〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20

電話 03-3398-9127

Fax 03-3398-9128

Mail ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp

荻窪地域区民センター協議会あて(FAX:03-3398-9128)

回 答 書

団 体 名 : _____

団体代表者氏名 : _____

住 所 : _____

電 話 : _____

*いずれかの□にチェックを付し、必要事項をご記入の上、

令和4年12月26日までにご返送ください。

次期センター協議会委員として別紙「委員推薦書」の通り

_____様を推薦します。

今回は該当者がおりませんので、推薦は見送ります。

ご意見、連絡事項など

連絡・問い合わせ先 : 荻窪地域区民センター協議会事務局
住所 : 〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20
電話 : 03-3398-9127
FAX : 03-3398-9128
メール : ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp

委員推薦書

荻窪地域区民センター協議会

受付	令和 年 月 日	受付印	
(フリガナ) 氏名		性別 男・女	
		生年月日 昭和・平成 年 月 日	
住所	杉並区 丁目 番 号	職業	
電話	—		
主な職歴 (簡単に)			
地域活動・ボランティア活動 などの経験の有無・内容など			
所属団体名 代表者氏名			
役員会	令和 年 月 日	備考	
委員会	令和 年 月 日	備考	

※ 太線内をご記入下さい。

参考

1 協議会組織

会長、副会長、会計監事、総務部、地域交流部、広報部、事業企画部に分かれて活動します。

2 毎週火曜日午前に定例会、毎月の最終火曜日午後に定例委員会を開催します。(原則)

3 おぎくぼセンター祭、アート展などには、全員で参加します。

4 委員はボランティアですが、出席の場合には交通費相当を支給します。

5 委員の任期は、1期2年で2期4年を限度とします。

広報すぎなみ12月15日号 掲載依頼

担当者名： _____

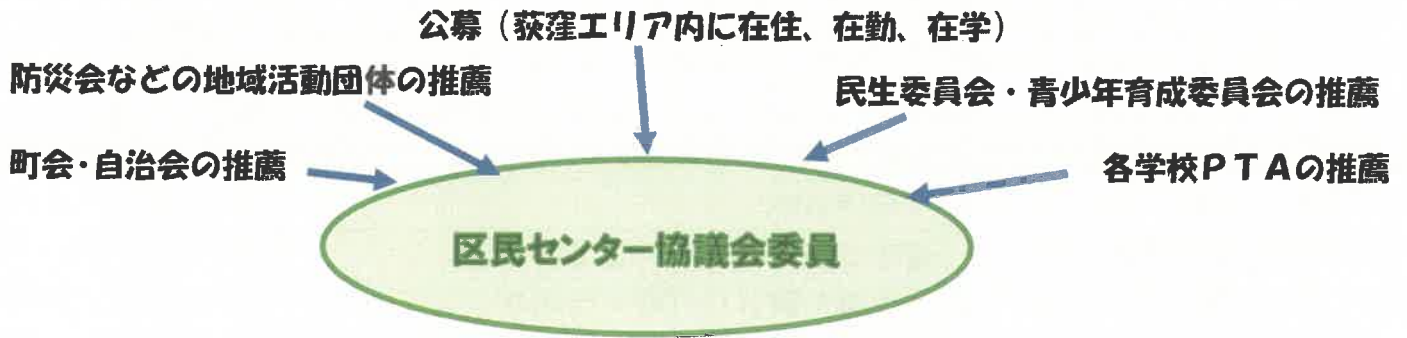
広報タイトル (講座名)	荻窪地域区民センター協議会委員の募集 あなたも「まち」で楽しく活動してみませんか？
開催日	
開催時間	
対象	
開催場所	
内容	<p>【活動内容】 協議会で行う催し等の企画・実施、広報活動ほか</p> <p>【任期】 令和5年4月1日（就任時）～7年3月31日（退任時）1期2年 原則2期活動</p> <p>【活動場所】 地域区民センター・区民会議室ほか</p> <p>【資格】 天沼・荻窪の全域、上荻1丁目、清水全域。宮前1～3丁目、宮前4丁目26～28番、本天沼2・3丁目、南荻窪全域、今川1・2丁目、桃井1・2丁目、高井戸東4丁目、浜田山4丁目16～18番、成田西2丁目9～14番、成田西3丁目17～20番、阿佐谷南3丁目13、48～51番、本天沼1丁目6・7、14～16番に在住・在勤・在学の方</p> <p>【募集人員】 20名</p> <p>【委員活動費】 交通費程度</p> <p>【その他】 詳細は、協議会事務局まで。申込書は、返却しません。</p> <p>荻窪地域区民センター事務局 〒167-0051 荻窪 2-34-20 ☎ 3398-9127</p>
申込期限	5年2月1日まで
申込方法	申込書（荻窪地域区民センター・本天沼区民集会所で配布します。また、協議会ホームページからも取り出せます。）に必要事項を記入し、協議会事務局へ郵送・持参
講師名（ふりがな）	
定員	20名
参加費	

荻窪地域区民センター協議会 第24期委員募集

当協議会の委員になって地域の絆を育んでいきませんか。

委員は、地域の交流とふれあいを図るイベントや講座の企画、地域の課題解決に向けた事業、広報活動、協議会の運営などを行います。

当協議会では、所定の荻窪エリアの団体から推薦された方や自ら応募された地域のみなさんが委員として活動しています。



※荻窪エリアは、裏面に記載しています。

○ 協議会の委員は、下記4部門にそれぞれ所属し、活動します

各部会名	活動内容
地域交流部	住民の交流と地域づくりに関する事業 (地域のイベントを企画・実施) おぎくぼセンター祭 地域対象アート展 荻窪音楽祭関連コンサート マルシェ&ハロウィン子どもまつり
事業企画部	地域住民の文化向上と健康増進に関する事業 (生涯学習に関する講座) キッズ向け企画～さいえんす縁日 防災フォーラム 演芸鑑賞～講談・落語など 各種講座
総務部	協議会運営、経理に関する事務事業 (運営、連絡、調整を企画・実施) 定期総会・地域懇談会 館内研修・館外研修 地域交流会～こみゆに亭カフェ 地域清掃～クリーン大作戦
広報部	協議会活動のPR、地域住民への情報提供 (広報誌発行、協議会HP作成) 広報誌～わたしのおぎくぼ 各種発行物 ホームページ https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/

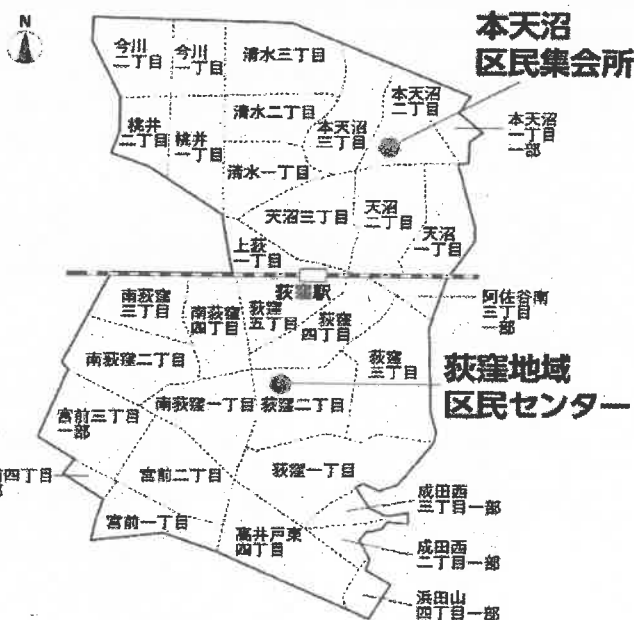
【24期委員募集要項】

荻窪地域区民センター協議会

募集対象	荻窪地域エリア(下記参照)内に在住・在勤・在学の方
募集人員	10名程度
活動期間	原則2期4年(令和5年4月～令和9年4月) 1期…2年
報酬	交通費程度
応募方法	荻窪地域区民センター協議会委員申込書に必要事項を記入の上、協議会事務局へ持参又は郵送により提出してください。申込書は、荻窪地域区民センターまたは本天沼区民集会所に置いてあるほか、協議会HPからもダウンロードできます。
申し込み期限	2023年2月1日(水)まで
部会・委員会 日程	・各部の部会～毎週火曜日(10:00～12:00) ・委員会～毎月第4週火曜日(13:00～15:00)
問い合わせ先	荻窪地域区民センター協議会事務局 〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20 Tel:03-3398-9127 Fax:03-3398-9128 https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/

【公募対象となる荻窪地域エリアの町名・丁目】

今川1～2丁目、桃井1～2丁目、清水1～3丁目、
本天沼1丁目6～7番、14～16番、本天沼2～3丁目、
天沼1～3丁目、上荻1丁目、荻窪1～5丁目、
阿佐谷南3丁目13番、南荻窪1～4丁目、
成田西2丁目9～14番、成田西3丁目17～20番、
宮前1～3丁目・4丁目26～28番、高井戸東4丁目、
浜田山4丁目16～18番48～51番、



【荻窪地域区民センターMAP】



荻窪地域区民センター協議会事務局は、左写真の荻窪地域区民センター1Fにあります

マルシェ&ハロウィン子どもまつり前日準備、当日片付けの担当および手順表

2022/10/25(於：委員会)

1F	氏名	10/29 準備	10/30 当日	29日準備と30日終了復元	どんまい工房
準備集合 (10/29)				29日準備と30日終了復元	どんまい工房
地交部・どんまい：13:00 委員：13:30 片づけ (10/30) 12:30～					
エントランス、ロビー	影山	○	○	・エントランス玄関右の器材を左に寄せる ・談話室低テーブル6 (マルシェ搬入物置き場) を残り託児室側に寄せる ・椅子20 (本部2受付5花2野菜5マルシェ6) 残は託児室側へ、	・小パネル6 (マルシェブースのディスプレイ用) ・小パネル固定2 (野菜売り場ディスプレイ用) ・扇型机2 (綿菓子、ポップコーン器材設置) ・丸椅子7 (野菜5、花2) ←以上B2
	杉原	○	○	・受付、野菜、マルシェ適宜ライン引き	・折机11 (本部2、受付3、野菜5、花1)
	恵羅	○	○	・小パネル6 (マルシェ6ブース) へのディスプレイ貼付	・ワイド折机6 (マルシェブース6) ←
	菊野	○	○	・受付表示、検温器2、来場者カウンター1←事務局	B1
				・消毒4 (受付2、野菜1, マルシェイ入口1) ←打ち合わせ室	
談話室	染谷	○	○	・テント前方の募金箱の設置と苗木受け渡し机2を設置、 看板類の位置取りとディスプレイ	・テント1張り、 ・長机3 ・丸椅子3 ・小パネル6 ・丸椅子7 (野菜5、花2) ←以上B2
	松崎	○	○	・苗木の配置、確認用ディスプレイ	
	船津	○	○	・ライン引き	
苗木	上田	○	○	・消毒液・募金箱・持ち帰り袋←部会室	
	熊谷	○	○		
	香取	○	○		
	伊藤	—	○		

マルシェ&ハロウィン子どもまつり前日準備、当日片付けの担当および手順表

2022/10/25(於:委員会)

2F	氏名	10/29準備	10/30当日	29日準備と30日終了復元
				協議会 どんまい工房
	準備集合 (10/29)			地交部・どんまい: 13:00 委員: 13:30 片づけ (10/30) 12:30~
1, 2集 ハロウィン 撮影会場	萬	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・長机6 (受付1、撮影1、子供指導1, BGM1、お土産2) と椅子35 (ウエイティング7~8組20脚、委員受付2、予備3) を残し料理室へ ・ハンガー掛け、WB等容易に移動可能なものは料理室へ ・重量物は撮影に支障ない程度に移動 ・消毒液←部会室 ・所作台調整 ・ディスプレイ用小パネル調整 ・スポットライト設置調整 ・BGM確認調整
	茂木	○	○	
	大矢	○	○	
	杉浦	○	○	
	小野	○	○	
	本田	○	○	
	堀川	○	○	
横尾	-	○		
	1, 2和室 (幼児積み木あそび)			×
				×

文学講座：アンケート結果

講座名：文学講座「与謝野晶子と源氏物語」（神野藤昭夫講師）

2022年9月17日(土) & 10月1日(土) 13:30~15:00、回答者数=31名

1. 1) 男性=6人、 2) 女性=24人、3)無記入=1人
2. 1) 40代=2人、 3) 50代=1人、 4) 60代=2人、 5) 70代=15人、
6) 80代以上=12人、7)無記入=1人
3. この講座を何でお知りになりましたか（該当するもの全て）：
1) 区報「すぎなみ」=25、 2) 「わたしのおぎくぼ」=2、
3) ポスター=1、 4) ホームページ=1、 5) 無記入=1
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に、今回も含めこれまで何回参加されましたか？
1) 1回=4、 2) 2回=6、 3) 3回以上=19、 4) 初めて=1
5. 今回と同様の文学講座に、これまで何回参加されましたか？
1) 1回=10、 2) 2回=3、 3) 3回以上=14、 4) 初めて=3
6. 今回の講座を受けられていかがでしたか？
1) 満足した=26、 2) 普通=2、 3) 物足りない=1、 4) 無記入=2
7. 満足なされた方のご感想をお聞かせ下さい：

※今迄余り知らなかったテーマで大変知的刺激を受けました。あと2~3回は聞かせて欲しい。

※知らないことを知ることは楽しい。先生の講座への姿勢が嬉しいし、ぜひまた聞きたい。

※与謝野晶子の源氏物語訳は全く新しい対象であったから。

※先生の詳細且つ丁寧な講義により楽しく充実した時を過ごせた。晶子版源氏を読みたい。

※内容が興味深く、楽しく受講させていただきました。

※大変面白かった。もっとお聞きしたかった。

※興味深くお聞きしました。とても貴重なお話しでした。

※源氏物語の訳者としての与謝野晶子を私は余り感心を抱いていなかったため、そのことだけでこれだけ研究する価値があることに驚かされた。

※立派な本を出版なされた研究者が、気さくに専門家臭くなくお話し下さって、何を指針に与謝野源氏を読めばよいか良くわかりました。

※神野藤先生の講演を受講出来る機会を再度予定いただけたらと思います。

※もっと与謝野晶子を知りたくなり、図書館の本を読みまくっています。神野藤先生の本も予約しました！

※専門的な知識を分かり易くお話しただいて、大変面白かったです。

裏面へ続きます →

※血肉になっている学識などを自由に引き出し、楽しく聴かせていただきました。私も50年前に行ったパリの写真など、個人的に懐かしく拝聴しました。

※話し方が面白かった。晶子の文学者としての素晴らしさを学んだ。パリでの晶子の生活についての話も面白かった。

※いつも新しい知識を学ばせていただいております。

※晶子が死を予感していたように急いでいたことを知り、興味深かった。

※流石に先生の知識は素晴らしい。楽しく聴けました。

※分かり易い語り口で資料も効果的に利用されていた。内容も充実した名講義でした。

※参考になることが沢山あった。

※与謝野晶子の人なり、作品の背景を深く知ることが出来た。

※神野藤先生の間合いの良い講義は聞き易かったです。

8. 物足りなかった理由をお聞かせください：

※講座時間が少なく、理解できないところが多かった（私の理解不足のため）。

※もっと回数を増やして、もっとお聞きしたかった。

※雑談が多い。

※もう少し源氏物語にも触れて欲しかった。

※2回では無理があった。4～6回シリーズであった方が良かった。

9. 講座の運営について気付かれたことがあればお聞かせ下さい：

※これからも積極的に企画して下さい。

※いい講座でした。有難うございました。

※西荻地域でも文学講座を開いて欲しい。→㊦？

※よく配慮されていた。

※講義の妨げにならないよう、開講後の受付は室外でなさっては如何でしょうか。

※丁寧な運営、ありがとうございました。

※ネットによる申込受付もして欲しい。→㊦？

10. 今後どのような講座の開催を希望されますか：

※「鴉外と啄木」、「鴉外と漱石」など；現代文学もお願いします。

※神野藤先生の今月の講座の続き!!；古典；神野藤先生へ再度「新新訳源氏」。

※歴史・文学の講義；杉並の文学者（晶子同様に）を中心に。

※朗読；話し方講座；短歌、書道、英会話、ジャズ・ボーカル；俳句・俳人について。

※古典文学、世界の歴史に関して等

※源氏物語の解釈の講座、高村光太郎。

第14回 防災フォーラム2022「障害者と考える地域の防災」アンケート集計

年齢は： 20代(1) 30代(3) 40代(5) 50代(11) 60代(17)
70代(31) 80歳以上(1)

お住まいは： 荻窪(15) 南荻窪(8) 宮前(5) 高井戸(2) 上荻(2) 井草(2)
天沼(5) 本天沼(5) 清水(1) 阿佐ヶ谷(4) 成田(2)
その他(10) 杉並区以外(5)

1. 各催しについて、感想をお聞かせください。

- (1)「障害によって災害時の対応はどう違うのか」(身体障害者協会：高橋博氏)
①役に立った・興味深かった(40) ②普通(10) ③あまり役立たなかった(1)
④その他(1)(町会の中での対象者の確認、プライバシー等の制約なしに情報公開と共有が大切と思って活動)
- (2)「障害者の在宅避難確保を目指す立場から」(ほっとけない連：佐藤弘美氏)
①役に立った・興味深かった(47) ②普通(3) ③あまり役立たなかった
④その他(1)
- (3)「医療的ケア児・者支援の立場から」(みかんぐみ：村一浩氏)
①役に立った・興味深かった(46) ②普通(5) ③あまり役立たなかった
④その他()
- (4)杉並区の防災対策(防災課：土田課長、保健福祉部：西山係長)
①役に立った・興味深かった(37) ②普通(12) ③あまり役立たなかった(1)
④その他(1)

※ 講演会についてお気づきのこと、感想など

- ・テーマに沿った事例紹介で、とても分かりやすくお話を聞くことができた
- ・震災時の水の確保方法について実際的なことを調べることの必要性を感じた(雨水利用など)
- ・具体的に話していただいたので非常によくわかった
- ・障害者とのふれあいが日常にないため大変勉強になった
- ・普段忘れていたことを思い出す機会になるので有効だった(2)
- ・災害時、誰でもが大変な時、障害者・関係者はどれほどの苦労かと考えると気が重くなった
- ・中学生レスキューを知り、近所の中学生に是非聞いて見たい
- ・救援所の運営に精いっぱい普段ここまで考えられなかったのが今回は良かった
- ・たすけあいネットワークの講演を聞いて気付いたこと
救援所立ち上げ時、救助班 3~4名/班を 3~4班編成と考えていたが、その前に安否確認

班

- 3~4名が最初に必要と改めて気づいた
- ・震災時に人工呼吸器などの重篤な人を救援所に避難させることは無理があるのでは？緊急医療救援所での対応が望ましいと思うがどうでしょうか？
- ・とても有益なお話を聴けた。勉強になった(3)
- ・障害者の避難先や対応など今まで震災救援所の会議で話し合いが充分ではなかったのが参考になった(2)。寝たきり老人対応なども協力体制が必要だと思う
- ・障害に特化したものが今までなかったので大変ためになった
- ・地域の中で助け合いが重要と分かった。自分でできることを積極的にかかわっていきたい
- ・震災救援所内の点検をします
- ・今まで障害者のことを考えてなかったのが勉強になった
- ・それぞれが短い時間だったので集中できた
- ・午前の部すべてが講演というのはすごい試み。短い講演時間のなので聞くのは苦でなかった
- ・画面が遠くて見にくい(2)。耳が悪いので聴きづらい。手元資料はありがたい
- ・障害者がたすけあいネットワークに登録していない方が多いと聞いたが理由を知りたかった
- ・当事者からの話がもう少しあれば、より身近な話が聞けたかと思う
- ・1つ1つ良かったが、やや詰め込み過ぎの感じがした。1つ1つもう少しきちんと話を聞き

防
災
講
演
会
午
前
の
部

	<p>たかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の話は有益だったが、区の説明は発展性がなく問題点が明らかになっていない ・前2つの講演の音量が小さく、はっきり聞き取れなかった。「この資料です」とはっきり提示してから講演をしてほしい(2) ・マニュアルの有無の話があるとよかった ・講師はステージに乗ったほうが聞きやすい。公私立の高校も初めから活用してほしい
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">午後の部 体験ゲーム</p>	<p>(5) 防災体験ゲームをグループで実施しましたが、いかがでしたか ①役に立った・興味深かった(42) ②普通(3) ③あまり役立たなかった ④その他(3)(色んな意見・考え方があることを知りよかった)</p> <p>※ 防災体験ゲームについてお気づきのこと、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者にとっては、午前・午後両方受講が良い(午前中「落選」したため) ・各メンバーの立場立場からいろいろな体験の話が聞けて良かった(8) ・模造紙の文字が小さすぎた、折角の内容なのでぜひ大きく書いてほしい ・課題が多すぎてゆっくり検討ができなかったと思う。いろいろ雑談等情報交換したかった ・今後の救援所に役立つ ・初の体験で、何をポイントにすべきか迷った ・地域の防災に関して初めて参加したので、身になる意見が聞けて良かった ・内容が良く吟味されていた ・震災救援所に期待されている内容の個人差が気になった ・災害時には町会・自治会に入っていない、外国人・障害がある無しもちろん、全員で助け合うべきだと感じた ・町会・自治会のコミュニケーションネットワーク構築が重要 ・防災訓練等PTAでしか関わったことがなく、一区民として本日参加し、町会やボランティアなど様々な役割が想定されていることが分かった ・まだまだ考えなければいけない課題がたくさんあると感じました。障害者の対応は今まで考えていないことが多いと思った ・障害者の立場での話が聞けて良かった ・初めてのことなので問題点のピックアップで終わったが、それなりに有意義だった ・もう少し時間がある方が良かった。区政に是非反映してほしい ・活発な交流ができてよかった。ファシリテーターも良かった ・自分がいかに防災について無知かを感じた。勉強のきっかけにしたい ・話し合いの時間が60分とは思わなかった ・アレルギーや、耳・目・身体の障害等、むずかしい ・いろんな気づきがあった。知らないこともあった ・検討時間を各々決めるのも良いかも ・震災救援所連絡会員でも”初動”対応、障害者収容の施設利用計画を知らない人がいてビックリでした ・問題を出し、各々にメモを書かせてボードに貼りそれを発表したほうが多くの意見を聞いたのでは?
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1階談話室 展示コーナー</p>	<p>(6) 車いす牽引バー、アンプルボード、感震ブレーカー等防災備品展示(杉並区防災課)</p> <p>①震災救援所の防災器具、備品等を身近で見ることが出来て良かった(31) ②あまり興味がなかった(1) ③見なかった(2) ④その他()</p> <p>※ 展示コーナーについてお気づきのこと、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電機など電源に関することをもっと知りたい ・情報伝達用に救援所に必要なピクトグラムを作って、救援所に配備してほしい ・もっと前に展示しないと見ない ・ある場所がわからなかった ・もう少し展示物があるといいと思った ・もっと实际的に動く体験を!

《ご感想、ご要望、ご意見等自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます》

- ・まず障害者のことを全く知らない、わかっていないのだなあと思った。勉強してから防災につなげていけたらと思う。私たちの救援所は、まだ障害者に対しての配慮まで考えられてないので、スペースの問題からもこれからの課題になると思う。二次救援所・福祉救援所があるのを初めて知った
- ・ゲームというので、いわゆるゲームかと思っていたが、まるで違って意外性があった。多様な考えをもらい平時からの備え（ココロとモノ）が必要と思った
- ・まずは自助実践することが多く、実行していこうと思う
- ・様々な障害者がいるので事前にいろいろと検討しておくことが重要であると再認識した
- ・とても参考になるフォーラムで感謝
- ・非常時における「トイレ」問題、各自の用意が必要と思った
- ・町会役員や震災救援所の役員も高齢化が進んでいる中で、中学生レスキュー隊の連携が必要であるにもかかわらず温度差がある感じがする。今後は中学生レスキュー隊の震災救援所への参加や勉強会などについて、区の中で統一された指導をお願いしたい
- ・防災・震災救援所について、地域住民はあまり関心を持っていないと思う。しかしいつどこで大きい災害が起こるか分からないので、もっと一人一人が日ごろから考える必要があると思う
- ・自助・共助・公助のあり方を考えさせられた。誰でもが障害者となる可能性がある中、社会的弱者を助け、想像力を働かせながら、自助努力とご近所とともに助け合う姿勢、公的な援助（区の助成金など）を活用しながら防災に向けて物心ともに準備したいと思った
- ・現代社会は何かとプライバシーという問題が出てくる。近所付き合いは特にマイナスになっている。障害者の家族も隠すことなく普通に生活できる社会になるといい。隠すとより差別意識が出てくると思う
- ・自分も障害者、たすけあいネットワークの協力員でもある立場から、障害者は「助けて」といえるように、かつ助けてもらうからには障害の程度や困りごとを常日頃から話しておく必要がある。努力も大切だと思っているし、障害者の立場も理解できるので協力していきたいと思って町会の活動なども行っている。助けてくれる人を作る努力をするべき。

2022年度 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当(写真・記事)



進捗	月	開催日	名称	web 申込	管理 No.	締切	担当 部署	担当者	広報担当	わたおぎ 案内
済	4月	4/26㊄	定期総会	—	—	—	総務	大矢	西村(横尾)	—
済	5月	5/14㊄	野外講座「武蔵野の面影を探して」	有	A01	5/1㊄	事企	菊野	西村(松崎)	No.356
済		5/18.25.6/8.15㊄	読書会 最高の短編小説を読む	有	A02	5/8㊄	事企	染谷	松崎	No.356
済		5/28㊄	季節の草花の寄せ植え (洋風)	有	403	5/15㊄	事企	熊谷・香取	伊藤	No.356
済	6月	6/5㊄	おぎくぼセン プラネタリウム	— 有	— A04	— 5/22㊄	地交	萬	横尾(全員)	No.356 No.357
済		6/8.15.22.29㊄	リズム&ストレッチ	有	A05	5/29㊄	事企	本田	横尾	No.356
済		6/16㊄(1回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第1回	有	A06	6/7㊄	事企	弘中	西村	No.357
済	7月	7/4㊄13:35~	講談出前授業 (書掛小)	—	—	—	事企	堀川・本田	松崎	—
済		7/31㊄	さいえんす縁日	有	A07	7/17㊄	事企	恵羅	松崎(横尾)	No.357
済	8月	8/3.10.17.24㊄	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	有	A08	7/17㊄	事企	本田	伊藤	No.357
済		8/6㊄(10~13)	インドネシアを楽しもう	—	—	—	事企	熊谷	伊藤(松崎)	No.357
済		①10-11,11:30-12:30	①作って遊べる工作自由研究	有	A09	7/17㊄				
済		②10~12:30	②パティックパンダナ制作体験	有	A10	7/17㊄				
済		③10:30~12:30	③インドネシア家庭料理調理実習	有	A11	7/17㊄				
済		8/13㊄	講談鑑賞会	有	A12	7/31㊄	事企	堀川・本田	伊藤	No.358
済	8/28㊄	地域交流会「こみゆに亭カフェ」	有	A13	8/14㊄	総務	大矢	西村	No.358	
済	9月	9/15㊄	文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」	有	A14	8/28㊄	事企	菊野	松崎	No.358
済		9/17.24.10/1.8㊄	初心者のための俳句教室	有	A15	9/4㊄	事企	本田	西村	No.358
済		9/17.10/1㊄	文学講座「与謝野晶子と源氏物語」	有	A16	9/4㊄	事企	菊野	松崎	No.358
済		9/21㊄	クリーン大作戦	—	—	—	総務	船津	横尾・西村	—
済		9/24㊄.25㊄	アート展 (注:締切日は出展申込)	—	—	8/10㊄	地交	萬	横尾(全員)	No.358
済	10月	10/6㊄(2回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第2回	有	A17	9/25㊄	事企	弘中	西村	No.358
済		10/6.13.20.27㊄	いきいき朗読教室 (本天沼集会所)	有	A18	9/25㊄	事企	染谷	松崎	No.358
済		10/23㊄	防災フォーラム	有	A19	10/9㊄	事企	染谷・弘中	横尾(西村)	No.359
済			防災講演会 防災カードゲーム	有	A20	10/9㊄				
掲	10/30㊄	マルシェ&ハロウィン子どもまつり	—	—	直接会場	地交	萬	横尾(全員)	No.359	
掲	11/5㊄	荻窪音楽祭「地域ふれあい777コンサート」	—	—	先着順	地交	萬	横尾	No.359	
募	11月	11/6㊄	東大アプリで考える首都直下地震72時間	有	A21	10/23㊄	事企	恵羅	伊藤	No.359
募		11/9㊄	フライパン1つでできるフランス料理講座	有	A22	10/30㊄	事企	堀川	西村	No.359
募		11/24.12/1㊄	大人のワイン講座	有	A23	11/6㊄	事企	堀川	西村	No.359
募		11/26㊄	荻窪健康サロン	有	A24	11/6㊄	事企	染谷	松崎	No.359
募			①ヨガ教室	有	A24	11/6㊄				
募		②立川抜志落語会	有	A25	11/6㊄					
募	11/27㊄	秋を楽しむ木の実工作教室	有	A26	11/6㊄					
募	11/27㊄	秋を楽しむ木の実工作教室	有	A27	11/13㊄	事企	染谷	伊藤	No.359	
12月	12/2.9.16㊄ (3回)	背骨を整えよう腰痛スッキリ体操	有	A28	11/20(日)	事企	熊谷	横尾	No.359	
	12/11㊄	荻窪寄席	有	A29	11/27㊄	事企	染谷	西村	No.359	
	12/6㊄~11㊄	区制90周年記念事業「原水禁運動パネル展」	—	—	直接会場	事企	事務局	横尾	No.360	
	12/14㊄~1/16㊄	荻窪の記憶V ロビー・パネル展示	—	—	直接会場	PJ	菊野	松崎	No.360	
1月	1/12㊄(3回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第3回	有			事企	弘中	西村	No.360	
	1/28㊄	地域懇談会	—	—	直接会場	総務	大矢	横尾	No.360	
	1/21㊄~3/22㊄	荻窪の記憶V 郷土博物館分館展示	—	—	直接会場	PJ	菊野	松崎	No.360	
2月	2/2㊄	クラシック関連企画	有			事企	堀川	伊藤	No.360	
	2/26㊄	本天沼集会所まつり				地交	萬	横尾(全員)		
4月	4/21㊄(4回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第4回				事企	弘中	西村		
?	9~11月?	正しく学ぼう!ラジオ体操				事企	恵羅			
?	未定(秋)?	弦楽合奏を聴こう				事企	菊野			

トップページ

講座・講演・イベント等

【わたしのおぎくぼ】等

協議会について

萩窪地域区民センター協議会



お知らせ

サイトマップ

- 2022.10.24 12月11日(日)開催「萩窪寄席」
- 2022.10.19 12月2日・9日・16日各金曜日(3回)開催 背骨を整えよう!腰痛スッキリ体操
- 2022.10.10 11月27日(日)開催 秋を楽しむ木の葉工作教室
- 2022.10.08 11月26日(土)開催「萩窪健康サロン」全体案内
- 2022.10.08 11月26日(土)「萩窪健康サロン」①中原邦子の初心者のためのヨガ教室
- 2022.10.08 11月26日(土)「萩窪健康サロン」②立川抜志の落語会
- 2022.10.08 11月26日(土)「萩窪健康サロン」③ロス・ポラーチョスのアンデス音楽会
- 2022.10.04 11月24日・12月1日各木曜日(2回)開催 大人のワイン講座
- 2022.09.27 広報紙「わたしのおぎくぼ№359 10月・11月号」(9月27日発行)
- 2022.09.27 11月9日(水)開催 フライパン1つでできるフランス料理講座
- 2022.09.26 11月6日(日)開催 東大アプリで考える首都直下型地震 72時間
- 2022.09.26 11月5日(土)開催 萩窪音楽祭/地域ふれあいアフタヌーンコンサート(当日先着順60名)
- 2022.09.26 10月30日(日)開催 マルシェ&ハロウィン子どもまつり
- 2022.09.07 10月23日(日)開催 防災フォーラム プラウドM1防災講演会、プラウドM2防災体験ゲーム(開催報告あり)
- 2022.08.24 10月6日・13日・20日・27日(各木曜日・4回)開催 いまいき朗読教室 会場:本天沼区民集会所

「お知らせの履歴」を見る

これからのスケジュール

10月

11月

- 6日 ● 「善徳寺池の四季・第2回」現地集合
- 6日・13日・20日・27日 ● 「いきいき朗読教室」会場:本天沼区民集会所
- 23日 ● 「防災フォーラム」
- 30日 ● マルシェ&ハロウィン子どもまつり
- 5日 ● 萩窪音楽祭
- 「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」
- 6日 ● 吉久節紀トリオあきから
- 6日 ● 東大アプリで考える首都直下型地震72時間
- 9日 ● フライパン1つでできるフランス料理講座
- 24日・12月1日 ● 大人のワイン講座
- 26日 ● 萩窪健康サロンと共同開催
- 「萩窪健康サロン」萩窪地域区民センター
- 27日 ● 秋を楽しむ木の葉工作教室
- 29日 ● 広報紙「わたしのおぎくぼ」№360 12月・1月号(発行)

12月

- 2日・9日・16日 ● 「腰骨を整えよう!腰痛スッキリ体操」
 - 6日・11日 ● 当センター「フレコロ」
 - 「杉並区区制90周年記念事業」
 - 原水爆禁止運動50周年記念事業
 - 11日 ● 「萩窪音楽祭」全県学生歌手・幼歌補助
 - 14日 ● 「1月16日」当センター「フレコロ」
 - パネル展「萩窪の記憶」V、萩窪100年の歴史
- 令和5年1月・2月
- 1月12日 ● 「善徳寺池の四季・第3回」現地集合
 - 1月21日 ● 「3月22日」
 - パネル展「萩窪の記憶」V、萩窪100年の歴史
 - 会場:富士野物産公園
 - 1月28日 ● 「萩窪健康サロン」
 - 1月31日 ● 広報紙「わたしのおぎくぼ」№361 2月・3月号(発行)
 - 2月26日 ● 「本天沼区民集会所」
 - 会場:本天沼区民集会所

※イベント開催場所は萩窪地域区民センターです。
※会場が明記されていないものは全て「萩窪地域区民センター」です。
※問い合わせ先: ● 事業企画部 ● 地域交流部
● 広報部 ● 総務部

HPに防災フォーラム開催報告を掲載しました

トップページ

講座・講演・イベント等

広報紙
『わたしのおぎくぼ』等

協議会について

HOME > 講座・講演・イベント > イベント > 10月23日(日)開催 防災フォーラム プログラム1防災講演会、プログラム2防災体験ゲーム(開催報告あり)

10月23日(日)開催 防災フォーラム プログラム1防災講演会、プログラム2防災体験ゲーム(開催報告あり)

終了しました

【開催報告】

ここをクリックすると全講演、SUG各グループの写真がPDFで掲載されています。

2022防災フォーラム会場写真

10月23日(日)午前10時～午後3時30分、荻窪地域区民センターにて、町会・防災会・震災救援所、障害者団体などの招待者、申込を頂いた一般の参加者、杉並区役所職員、当協議会委員など約100名が参加し、「防災フォーラム2022」が開催されました。

午前10時～12時、B2体育室の防災講演会では今回のテーマである「～障害者と考える地域の防災～」に沿って、杉並区障害者団体連合会高橋博氏「障害によって災害時の対応はどう異なるのか」など、5名の講師から基調講演がありました。

午後1時～2時30分、2Fの会議室群(集会室)に於いて、7グループに分かれ、防災体験ゲーム(SUG)を実施しました。SUG終了後は、B2体育室にもどり、7グループの進行役の方からそれぞれ報告がありました。

その他、上記プログラムと並行し、1F談話コーナーで、「防災備品」「防災パネル」(杉並区)が展示されました。

今回のフォーラムは「～障害者と考える地域の防災～」という、テーマをとりあげましたが、活発な意見交換がなされ、「障害者にとっての防災の現状と解決すべき課題」を考える良い機会になりました。



車椅子での講演 高橋博氏



SUG第1グループ(中央2名
は手話通訳)



防災備品展示(杉並区)

わたしの おぎくぼ

資料 11

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28~1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28~1/4



荻窪の記憶Ⅴ エピローグ・発展と変貌

I～Ⅳとつづけてきた展示の締めくくりとして、
これまで触れてこなかった地域、
戦中・戦後という時間をカバーし、
新たな切り口から荻窪の発展を振り返ります。



地下鉄荻窪駅の開業式(1962)
提供 東京メトロ



完成時のタウンセブン(1981)



善福寺川と荻窪団地 (1962 頃)
(杉並区立郷土博物館蔵)

荻窪地域区民センター 玄関ロビー展示

開催期間: 12月14日(水)~1月16日(月)
● 展示場所: 荻窪地域区民センター 1F玄関ロビー
杉並区荻窪2-34-20
☎03-3398-9127
● 開館時間: 午前9時~午後9時
● 休館日: 第2・第4月曜日と毎月20日 12月28日~1月4日

杉並区立郷土博物館分館 区民参加型展示

開催期間: 1月21日(土)~3月 日(日)
● 展示場所: 郷土博物館分館 西棟1F展示室
杉並区天沼3-23-1(天沼井天池公園内)
☎03-5347-9801
● 開館時間: 午前9時~午後5時
● 休館日: 毎週月曜日と毎月第3木曜日 12月28日~1月4日

これからのスケジュール

- 2日(日) 12月16日(月) 香神を整えよう! 腰背スッキリ体操
講師: 福寿堂健康コンディショニングインストラクター
● 6日(木) 11日(日) 当センター1Fロビー
「杉並区区制施行90周年記念事業
原水禁止署名運動パネル展」
● 11日(土) 「桜並木」
落語: 金原草馬五、太神楽由云、翁家和助
● 14日(月) 1月16日(水) 当センター1Fロビー
パネル展「荻窪の記憶Ⅴ」荻窪100年の歴史
会場: 郷土博物館分館
● 28日(土) 「地域懇談会」
No.361 2月3日(日) 開催
● 31日(月) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.361 2月3日(日) 発行
● 2日(火) 「二期会メソソプラノ」歌手 ひらやす
かっこが歌う、日本の歌と世界の歌
● 26日(日) 「本天沼集会所まつり」
会場: 本天沼区民集会所
3月
- 15日(土) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.362 4月5日(月) 発行
● ※イベント・講座等は変更となる場合がございます。
※会場が明記されていないものは全て、会場は
荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先: ● 事業企画部 ● 地域交流部
● 広報部 ● 総務部



高等学校訪問
第7回「文武二道」と「自主自律」が教育理念
「国際社会で活躍できる人間の育成」を目指す

東京都立西高等学校

高校紹介の第7回は、都立西高の萩原聡（はぎわら・さとし）校長先生からお話を伺いました。

★概要

東京都立西高等学校は、昭和12年に創立された府立第十中学校を母体とする創立85年の学校です。都教育委員会から「進学指導重点校」や「数理研究校」などに指定され、生徒たちは自由でおおらかな雰囲気の中で、伸び伸びと様々な活動に取り組み、優れた実績を挙げてきました。西高には多彩な能力を持った生徒がたくさんおり、学習活動、学校行事、部活動、課外活動などの場で、生徒一人一人が輝くことができる舞台があります。

★教育理念

教育理念の一つ、「文武二道」は、文（学習・教養）と武（学校行事、部活動、課外活動など）の二つの道を究めるのが目標です。「文」の中心は「授業で勝負」を合言葉に、生徒と教員で作上げる質の高い授業を目指します。「武」の中心は、生徒たちが企画運営する伝統ある学校行事や、多様で活発な部活動です。

もう一つの教育理念「自主自律」と併せ、「国際社会で活躍出来る器の大きな人間の育成」を目指し、互いに切磋琢磨することで、心豊かでたくましく、高い学力と豊かな教養を兼ねた生徒に成長することを目標としています。



生物・ニワトリの胚発生を観察

西高では入学から三年間を通じた計画的な「キャリア教育」を行っています。進路指導や、社会の第一線で活躍する卒業生らによる講演会やパネルディスカッション、大学の研究室訪問などを通して、「自己実現の第一歩として大学進学」を

捉えさせ、希望進路の実現に向けた学習支援に努めています。

学生たちが10年先、20年先に必要となる資質を身に付けるため、①バランスのとれた英語4技能の育成②探究活動の充実③日本語、英語によるディベートや言語能力の向上④幅広い教養⑤海外の高校生との交流を通じたグローバルな視点の育成—などに取り組んでいます。

★西高の特色

西高は、世田谷や杉並、練馬から自転車で通学する生徒が多いのですが、町田市や八王子市からも電車を通うなど生徒の居住地は都内のほぼ全域に分布しています。自主性を重んじ、制服もなく生徒はのびのびと勉学に部活動にと、いそしんでいます。

進学先としては、更なる学びが可能な大学を志望し、令和4年は国公立へ現役と浪人合わせて203人（東大27人、京大23人など）、私立へは1206人（早稲田大172人、明治大161人、東京理科大122人、慶応大104人など）が合格しています。都立では日比谷高校に次ぐ進学実績を誇っています。

関係大学に進学した卒業生がチューターとして毎日放課後、進路室に常駐し、学習のアドバイスや様々な相談に応じています。



インドネシア姉妹校との交流



アメリカンフットボール部

★萩原校長の思い

萩原校長は、校長として西高が四校目で、西高では既に5年勤めておられます。この間、コロナ禍で活動が制限されてきましたが、今年は「やれるものはやろう」と活動の幅を可能な限り広げるよう努めているそうです。

萩原校長の一番の願いは、伸び伸びと活動に取り組んできた生徒たちが「将来の夢の実現」に向けて仲間と一緒に自らを磨き高めてほしい、ということです。

■東京都立西高等学校

住所：168-0081 杉並区宮前4-21-32

電話：03-3333-7771

ホームページ：<https://www.metro.ed.jp/nishi-h/>

講座紹介 ※P4に講座案内あり

2月2日（木）開催

二期会メゾソプラノ歌手 ひらやす かつこが歌う、
日本の歌と世界の歌

事業企画堀川氏 出演者と詳細取りまとめ中

伊藤

「荻窪の記憶」
こぼれはなし

現在と過去を繋ぐ横丁

戦後のヤミ市をルーツとする吉祥寺のハーモニカ横丁はすっかり人気スポットになっていますが、荻窪にもヤミ市に由来し、戦後の雰囲気を残すエリアがあるのをご存知ですか。荻窪駅北口、バス・ロータリーの東に位置するエリアです。ちなみに、ヤミ市が初期の露店から木造のバラックに変わると、「マーケット」と呼ばれるようになりますが、このエリアには「引揚者厚生マーケット」「中央マーケット」「国際平和第二マーケット」という三つのマーケットが並んでいました。「引揚者厚生マーケット」には上海からの引揚者が多かったそうですが、名前からも世相がうかがわれます。けっして広くはないエリアですが、マーケット時代の路地や井戸が過去と現在をつなぎ、歴史の連続性を感じさせてくれる貴重なエリアになっています。



荻窪駅北口

手前はバス・ロータリー。その奥に並ぶ低層の白錆がマーケットの名残を感じさせてくれる。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



引揚者厚生マーケットをルーツとする商店街のアーケード
高度成長期には、街頭テレビに人だかりができました。



同じアーケードにある
創業 67 年の喫茶店・源家門



マーケット時代の路地と
ダイワオギクボクタワービル



マーケットの二階は住居でしたが、水道はなく、井戸を利用していました。

開催報告

アートを楽しもう！地域アートとの出会い
第44回 アート展

9月24日(土)、25日(日)の両日、荻窪地域区民センターにて第44回アート展が開催されました。台風15号の影響で、24日(土)は雨模様となり、来場者の出足が懸念されましたが、翌25日(日)は天候も回復し、お陰さまで2日間合計で約500名の来場者に作品を鑑賞していただくことができました。コロナ禍中でのイベントではありましたが、地域の学校関係、一般の個人展示、グループの展示など、盛り沢山の内容となりました。ご協力いただきました関係者各位にあつく御礼申し上げます。



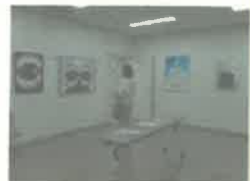
絵手紙ひまわりの会



松漢中学校



益子陶芸会



荻窪高校 美術部

開催報告

10月23日(日)開催防災フォーラム

担当：西村

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
武蔵野の自然探訪 「善福寺池の四季」第3回	武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。～第3回～草木の冬越し～樹木の冬芽や草本の越冬葉・冬鳥を観察～ 講師：星野義延（元東京農工大学教授） 星野順子（東京環境工科大学講師）	1月12日（木） 午後1時30分～16時00分頃 （集合場所：都立善福寺公園 上の池ポート乗場前）	15名	200円	12月18日
二期会メゾソプラノ歌手 ひらやす かつこ が歌う、 日本の歌と世界の歌	～ひらやす かつこと共に～ …あなたの心に花を… ◆第一部 日本の歌 懐かしの冬の歌メドレー、早春諸他 ◆第二部 世界の歌 アメジンググレイス、オペラ「カルメン」よりハバナ他 歌：ひらやす かつこ、ピアノ：田中 美里	2月2日（木） 〇時〇分～〇時〇分	〇〇名	〇〇円	〇月〇日

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)
◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。
◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

第24期協議会委員を募集します

当協議会の委員になって地域の絆を育んでいきませんか。
当協議会では、所定の荻窪エリアの団体から推薦された方や、自ら応募された地域のみなさんが委員として活動しています。
委員は、地域の交流とふれあいを図るイベントや講座の企画、地域の課題解決に向けた事業、広報活動、協議会の運営などを行います。

●各部の活動例(委員になると下記4部署のいずれかに配属となります)

地域交流部	事業企画部	総務部	広報部
イベントの開催	講座などの実施	総務・経理全般	広報紙・HP等
			
おぎくぼセンター祭	初心者向け俳句講座	館外研修の実施	隔月広報紙の発行

24期定期募集要領

- 募集対象：荻窪地域エリア内に在住・在勤・在学の方
- 募集人員：10名程度
- 活動期間：原則2期4年（令和5年4月～令和9年4月）
注：1期…2年
- 報酬：交通費程度
- 活動日：各部の部会は概ね毎週火曜日のAMに実施。
- 申込書類：荻窪地域区民センター協議会委員申込書に必要事項をご記入の上、協議会事務局へ持参または郵送により提出してください。
（申請書は荻窪地域区民センター及び本天沼区民集会所に置いてあるほか、協議会ホームページからダウンロードもできます。）
- 申込期限：令和5年2月1日（月）まで
- 問合せ先：荻窪地域区民センター協議会事務局
〒167-0051 荻窪2-34-20 ☎03-3398-9127
- 募集対象となる荻窪地域エリアの町名と丁目
本天沼(1)・2・3、天沼全域、清水全域、今川1・2、桃井1・2、上荻1、阿佐谷南(3)、荻窪全域、南荻窪全域、宮前1・2・3、(4)、高井戸東4、成田西(2)・(3)、浜田山(4)
注：()は一部が荻窪地域エリア

郷土博物館分館

問い合わせ：☎5347-9801

西棟2階展示室

「発掘された縄文時代～光明院南遺跡～」 割れた石棒のなぞにせまる

光明院南遺跡は荻窪駅の西側にある光明院の周辺に位置しており、縄文時代を中心に長い間、人々が生活していたことを示す痕跡が発見されています。光明院南遺跡からは、昭和初期以降、これまで8度の発掘調査が実施され、土器や石器だけでなく、石棒まで多くの資料が出土しています。今回の展示では、これらの出土資料や分かりやすいイラストも使って、縄文時代の人々のくらしや祭祀について紹介します。

【開催期間】令和4年11月12日(土)～令和5年1月22日(日)

西棟1階展示室(分館区民参加型展示)

荻窪の記憶Ⅴ エピローグ・発展と変貌

【開催期間】令和5年1月21日(土)～3月〇〇日(日)

※「荻窪の記憶Ⅴ」は当協議会の出展です。詳細はP1をご覧ください。

●場 所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)

●開催時間：午前9時～午後5時

●休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は祝日、翌日休館)

●休 館 日：年末年始の休館日(12月28日～1月4日)

●観 覧 料：無料

開催報告

9/17・10/1 開催
文学講座「与謝野晶子と源氏物語」
担当：松崎

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

12月21日(水) 10月25日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
11月29日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
1月31日(火) ※委員会是一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

地域区民センター協議会
広報部長 各位

令和4年10月3日

高円寺地域区民センター協議会 広報部 佐藤 あて

協議会名 (荻窪) 地域区民センター協議会
担当者名 (横尾耕一)

◎広報部七館連絡会 出席者氏名 (役職名)
※会場の都合上、3名程度まででお願いします。

横尾耕一 (役職：広報部部长)

松嶋茂一郎 (役職：広報部委員)

西村淳一 (役職：広報部委員)

高円寺地域区民センター協議会
会長 毛塚 博
広報部部长 佐藤 弥智子

広報部七館連絡会の開催について (ご案内)

秋冷の心地よい季節、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり開催いたします。各協議会の情報交換や問題点等につきまして率直な意見を交換したく、ご案内申し上げます。ご多用のところ恐縮でございますが、万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和4年11月10日(木) 10時～12時
場所 高円寺中央会議室 (高円寺南2-32-5) 2階 洋室1・2
議題 1. 広報部の活動についてほかの協議会に聞いてみたいこと
2. 貴協議会広報部の活動で、現在大変だと感じていること
3. そのほか上記以外で取り上げたい議題・提案等

※別紙にご出席者氏名と議題について記載のうえ、FAXまたはメールで10月21日(金)までにご返信ください。

[問合せ先]

高円寺地域区民センター協議会事務局
TEL・FAX 03-3317-6614

Mai | koenji@tanu-unkyo-pon-jim12232@icm.home.ne.jp

◎議題 1. 広報部の活動についてほかの協議会に聞いてみたいこと

荻窪は講座などのメールによる申し込みを開始し半年になる。他の協議会の実施状況が知りたい。(メールとはがきの比率、実施上の問題点など)

◎議題 2. 貴協議会広報部の活動で、現在大変だと感じていること

・ない

・ある (該当するものに○ 複数可)

- ① 広報誌について (具体的に)
- ② ホームページについて (具体的に)
- ③ 他部との連携
- ④ 広報部員の人数
- ⑤ 任期による引継ぎ
- ⑥ その他 ()

◎議題 3. そのほか取り上げたい議題・提案等

すぎなみ協働プラザ 「NPOガイドブック」

荻窪地域区民センター協議会 紹介文（案）

当協議会は荻窪地域において、良好な地域コミュニティの形成や住民の交流に役立つよう、関連した講座、イベントの開催などを行っています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。ご参加をお待ちしています。
(97字)

活動地域欄:荻窪地域

活動日時・頻度:毎火曜日午前中ほか

電話:03-3398-9127

ホームページ:<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp>

(仮称) コミュニティふらっと本天沼説明会参加申込書

参加者種別		利用団体名 (個人の場合は不要)
<input type="checkbox"/> ゆうゆう館利用者 <input type="checkbox"/> 区民集会所利用者 (<input type="checkbox"/> 本天沼・ <input type="checkbox"/> 天沼) <input type="checkbox"/> 近隣住民 <input type="checkbox"/> その他 ()		
出席者氏名 (2名まで)		
1人目	(フリガナ)	
2人目	(フリガナ)	
ご意見等		

・ 個人情報 は当該説明会に係る出席確認及び連絡にのみ利用し、説明会後は適切に処分します。

・ 説明会に参加されない場合でも、ご意見等を記載いただければ、今後の参考にさせていただきます。ご意見等のみの場合、利用団体名、出席者氏名の記載は任意です。

本天沼・天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館利用者及び
近隣にお住まいの皆様へ

資料 14

杉並区地域施設担当課長
高齢者施策課長
施設マネジメント担当課長

「(仮称) コミュニティふらっと本天沼」の整備に関する説明会のご案内

日頃から、杉並区政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

区では、区立施設再編整備計画に基づき、本天沼区民集会所を改修して同区民集会所、天沼区民集会所及びゆうゆう天沼館の機能を継承する新たな多世代型施設「(仮称) コミュニティふらっと本天沼」を整備し、令和 6 年度に開設することとしております。

こうした施設再編の取組につきましては、この間、今後の進め方について、改めて岸本区長の下で対応を検討し、一旦休止して幅広い意見を聴取した上で今後のあり方を検討していくものと、既に関連する取組が進んでいるため休止に伴う影響が大きいものに精査してまいりました。その結果、この度、「(仮称) コミュニティふらっと本天沼」の整備に関する取組については、計画どおり進めていく必要があると判断したものです。

つきましては、岸本区長が出席し、こうした判断に至った経過と理由についてご理解いただくとともに、新たな施設整備に向けたご意見を改修設計等に反映してより良い施設づくりを図るため、下記のとおり説明会を開催いたします。ご多忙のところ恐縮ですが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1 日 時

令和 4 年 11 月 19 日 (土) 午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分 (終了予定)

※午後 2 時から受付を開始します。

2 会 場

天沼中学校体育館 (本天沼三丁目 10 番 20 号・裏面案内図のとおり)

3 内 容

- ・天沼地区の施設再編整備計画
(本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館の再編等)
- ・コミュニティふらっとの概要
- ・(仮称) コミュニティふらっと本天沼の整備内容

4 参加申込について

参加を希望される方は、以下の①～④のいずれかの方法で、**令和 4 年 11 月 16 日 (水) まで**にお申し込みください。

申込方法	内容・宛先
① メール	件名は「コミュニティふらっと本天沼説明会参加申込」とし、メール本文に利用施設、利用団体名、出席者氏名、出席人数、ご意見等を記載の上、地域課 (tiiki-k@city.suginami.lg.jp) へ送信してください。
② 電話	地域課 (電話番号: 03-3312-2111 内線 3768) へ電話してください。 ※受付時間: 月曜～金曜 (祝日除く) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
③ 窓口	「説明会参加申込書」を記入し、本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館のいずれかの窓口へ提出してください。 ※開館時間、休館日を事前にご確認ください。
④ FAX	「説明会参加申込書」を記入して地域課 (FAX 番号: 03-5307-0681) へ送信してください。

※「説明会参加申込書」は添付のほか、本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館にも置いています。

※裏面も必ずご確認ください※

5 その他

- ・説明会資料は、後日、本天沼区民集会所、天沼区民集会所及びゆうゆう天沼館にて配布いたします。ご希望の場合は施設の窓口にお申し出ください。(開館時間、休館日を事前にご確認ください。)
- ・会場の密集を避けるため、また、より多くの方にご参加いただくため、利用団体の場合は2名までの出席としていただくようお願いいたします。
- ・ご来場の際は、できるだけ徒歩または公共交通機関をご利用ください。駐輪場のご用意はありますが、台数には限りがあります。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、入場時の手指消毒等感染対策をお願いいたします。
- ・体育館内では靴を脱いでいただくため、上履き、靴を入れる袋をご持参ください。
- ・説明会には岸本区長の出席を予定しておりますが、他の公務により出席できない場合があります。

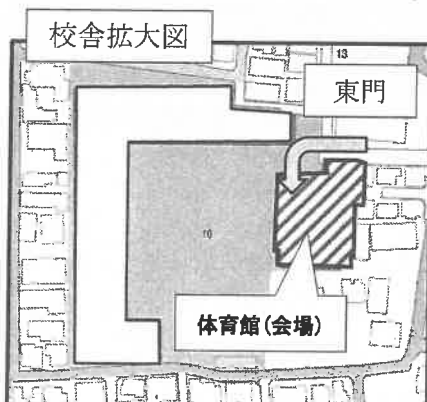
(集会施設の利用者様へ)

- ・この通知は、令和3年4月～令和4年9月の期間に本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館を予約された個人または団体の代表者様あてにお送りしています。

(近隣にお住いの皆様へ)

- ・施設改修に伴い、11月中旬に地盤調査・測量調査を実施します。調査の内容等については、後日改めて周知させていただく予定です。

6 会場案内図



※東門からご入場ください。

※駐輪場の台数には限りがあります。

【問い合わせ先】 杉並区役所：電話番号 03-3312-2111 (代表)

- 説明会全般・区民集会所・コミュニティふらっとに関すること
地域課コミュニティふらっと整備担当 西山・植田 (内線 3768)
- ゆうゆう館に関すること
高齢者施策課施設担当 荒瀬・宗形 (内線 1153)
- 区立施設再編整備計画に関すること
企画課施設マネジメント担当 近藤・松本 (内線 1482)